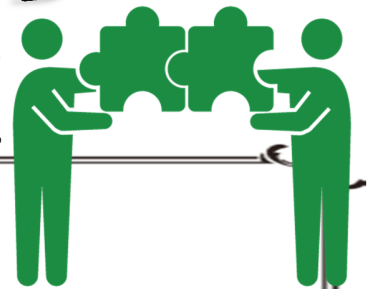


性暴力被害者のための

# ワンストップ支援センター の現状と課題



性暴力には、強姦や強制わいせつ、DV（配偶者や恋人からの暴力）、子どもへの性虐待等がありますが、被害者が心身に負うダメージは大きく、周りに打ち明けることが難しいのが実情です。また、女性は、性暴力により妊娠等の危険にさらされるため、早期に医療機関を受診する必要があります。

そのため、被害者に心身のサポートを提供する「ワンストップ支援センター」が、被害者を、医療機関、警察、カウンセラーや弁護士につなぐ結節点として、その役割が注目されています。

本年6月の刑法改正（強姦罪を強制性交等罪に改正）でも、参議院で「性犯罪が重大かつ深刻な被害を生じさせる上、性犯罪被害者がその被害の性質上支援を求めることが困難であり、その被害が潜在化しやすいという性犯罪被害の特性を踏まえ、（中略）被害者の負担の軽減や被害の潜在化の防止等のため、ワンストップ支援センターの整備を推進すること。」との附帯決議がなされています。

そこで、近畿各府県でのワンストップ支援センターの整備・運営状況について、また、相談体制、支援員や協力医療機関の確保をはじめとする現状と課題を話し合います。

日時

2017年 9月9日（土）

13時30分～16時30分（13時開場）

会場

大阪弁護士会館 2階

（大阪市北区西天満1-12-5）

ACCESS

地下鉄・京阪本線「北浜」26号階段から徒歩約7分  
地下鉄・京阪本線「淀屋橋」1号出口から徒歩約10分  
京阪中之島線「なにわ橋」出口1から徒歩約5分  
JR東西線「北新地」徒歩約15分/JR大阪駅から徒歩約20分



主催 近畿弁護士会連合会

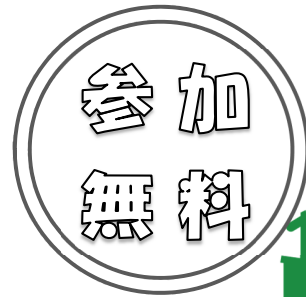
共催 日本弁護士連合会

第 1 部

基調講演・基調報告

第 2 部

パネルディスカッション



進行：大畑 泰次郎（弁護士、プレシンポジウム実行委員長）

▼講師・パネラー紹介

奥田 美和子さん

和歌山県子ども・女性・障害者相談センター女性相談課、性暴力救援センター和歌山わかやま mine(マイン) 支援員

児童相談所、女性相談所などの配属を経て、平成25年7月の立上げから性暴力救援センター和歌山わかやま mine(マイン)に関わり、現在は、支援員、女性相談員として性暴力被害者、DV被害者の支援に取り組んでいる。

田口 奈緒さん

性暴力被害者支援センター・ひょうご代表、兵庫県立尼崎総合医療センター産婦人科部長

産婦人科医としての経験から性暴力被害者のための支援センターの必要性を感じ、平成25年4月、兵庫県で初めての性暴力に特化した被害者支援センターである性暴力被害者支援センター・ひょうご（平成29年4月1日より「特定非営利活動法人性暴力被害者支援センター・ひょうご」に組織変更）を設立。医師の立場から性暴力被害者の支援に取り組んでいる。

原田 薫さん

ウィメンズセンター大阪代表、性暴力救援センター・大阪 SACHICO 運営委員、SAP（性暴力防止）子どもサポートセンター代表、女性のからだと性に関する相談員・カウンセラー

平成7年よりウィメンズセンター大阪で、女性のからだと性に関する相談、及び各種講座等の企画・運営・講師等を担う。平成22年4月に開設した日本初の性暴力被害者のためのワンストップセンター「性暴力救援センター・大阪 SACHICO」の運営委員、および支援員も務める。また、全国各地での性暴力被害者支援のための支援員養成・育成のための研修講師等を務めている。

松村 裕美さん

おうみ犯罪被害者支援センター理事・支援局長

滋賀県教育委員会子育て支援講師・相談員、滋賀県中央児童相談所相談員、滋賀県社会福祉協議会権利擁護センター主任相談員などを経て、平成21年からおうみ犯罪被害者支援センターに常勤で勤務。理事・支援局長として犯罪被害者支援に取り組んでいる。

◆一時保育サービス【無料・要予約 (8/25(金)のみ)】

原則として、首が座っている乳児～未就学児。開会 15 分～閉会 15 分後までとなります。**8月25日(金)まで**に下記連絡先にお電話でお問合せください。申込人数により、お断りさせていただくこともありますのでご了承ください。

※切り取らずこのまま F A X 送信してください

参加申込書 < F A X : 0 6 - 6 3 6 4 - 7 4 7 7 >

氏名(団体名)	ふりがな	参加人数	名
ご連絡先	( ) -		

お問合せ先

大阪弁護士会 人権課 (TEL:06-6364-1227 FAX:06-6364-7477)